

授業科目名	臨床薬理学		単位数	2単位	時間数	45時間	
授業科目名英字	Clinical pharmacology		必修・選択	NP必修	受講対象年	1年次	
科目コード	9501053	授業の形式	講義、演習、実習	講義室等	第6講義室		
開設学期等	前期 金曜日 11・12時限						
【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名/所属】	【研究室番号】	【電話番号】
安藤秀明	教授/看護学講座	C-112	6501	吉岡政人	教授/看護学講座	C104	6509
利緑	講師/看護学講座	C113	6522	高階淳子	助教/看護学講座	B102-2	6545
三浦昌朋	教授/薬剤学			煙山晶子	准教授/看護学	D305	6548
<b>授業の目的・到達目標</b>							
<p>薬剤の人体における作用機序と体内動態、有害作用、治療薬物モニタリング等の基礎知識を教授する。緊急応急処置、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬物療法について、薬剤使用の判断、投与後の患者のモニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理の向上を図るための知識と技術を教授する。</p> <p>(1) 多様な臨床場面において必要な治療を理解し、患者の安心に配慮しつつ、ケアや特定行為を安全に実践する能力を身につける。  (2) 主要な疾患別の治療薬および予防薬の作用機序、体内動態、薬理作用、副作用、相互作用、投与方法、投与後のモニタリングについての基本的な知識を身につける。  (3) 薬剤学・薬理学の基礎知識を深め、安全な管理と処方理論を理解できる。</p> <p>本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」  医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。</p>							
<b>授業の概要と進行予定及び進め方</b>							
<p>(1) 薬物動態の理論と演習  (2) 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習  (3) 主要薬物の相互作用の理論と演習  (4) 主要薬物の安全管理と処方の理論と演習  (5) 年齢による特性（小児/高齢者）</p> <p>【事前学習】eLearningで基礎知識を習得する。eLearningでは、各コンテンツの終了時に、確認試験に合格すること。eLearningで知識領域を履修した後に、事例ベースの演習から実践を学ぶ。</p>							
<b>成績評価の方法</b>		<b>教科書・参考書・参考文献等</b>					
講義：e-ラーニングの受講/確認テスト 演習：事例検討ディスカッション/観察評価 実習：ロールプレイ/観察評価 試験（筆記試験）：科目修了試験の実施（教室に集まりPC端末を用いて行う）		教科書等	書籍名	著者	出版社		
<b>コメント</b>		本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」 医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。					
<b>授業展開</b>		Web受講	<b>授業内容</b>				
第1回		○	薬物動態 薬物相互作用（総論）と薬物動態学の基礎知識 / 抗菌薬の投与期間				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第2回		○	中枢神経作動薬 てんかん / 疼痛 / 鎮静・せん妄 / パーキンソン病 / 脳梗塞超急性期における急性再開通療法の現状				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第3回		○	循環器系治療薬 虚血性心疾患の薬物治療 / 高血圧 / 慢性心不全の薬物治療 - 収縮不全型心不全 - / 不整脈の薬物治療 - 抗不整脈薬 - / 脂質異常症 / 抗凝固薬・抗血小板薬				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第4回		○	呼吸器系治療薬 喘息・COPDの薬物治療 / 肺炎の薬物治療				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第5回		○	消化器疾患治療薬 便秘・下痢 / 消化器薬（ピロリ菌・胃潰瘍）				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第6回		○	内分泌・代謝疾患治療薬 糖尿病の薬物治療 / 高血糖緊急症 / 甲状腺治療薬 / 骨粗鬆症 / 痛風・高尿酸血症				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第7回		○	感染症治療薬 抗菌薬治療の概論 / 敗血症				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第8回		○	免疫疾患治療薬 抗リウマチ薬・抗アレルギー薬 / 免疫抑制薬				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第9回		○	悪性腫瘍治療薬 抗がん剤				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第10回		○	血液製剤等 血液製剤、輸血 / 造血薬・止血薬（ESA・G-CSF）				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第11回		○	感覚器 皮膚疾患 ステロイド外用剤				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第12回		○	精神疾患治療薬 不眠症・せん妄 / 向精神薬				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第13回		○	その他 電解質・輸液 / 栄養療法 / 漢方				
【担当】 安藤秀明、利緑							
第14回	7 - 8時限	?	事例検討演習 薬物動態・薬物相互作用（総論） / 高血圧 / 心不全 / 脂質異常症 / 気管支喘息 / 肺炎 / 糖尿病 / 感染症 / 不眠症				
【担当】 安藤秀明							
第15回	9 - 10時限	?	事例検討演習 小児における薬物療法の注意点とワクチン / 特別に考慮の必要な患者群（妊婦・授乳婦・高齢者） / 肝・腎障害患者へ投与する際の注意点 / 処方の基礎・法的問題・麻薬・向精神薬の取り扱い / 医薬品副作用被害救済制度 / 妊婦に対する薬物療法				
【担当】 安藤秀明							